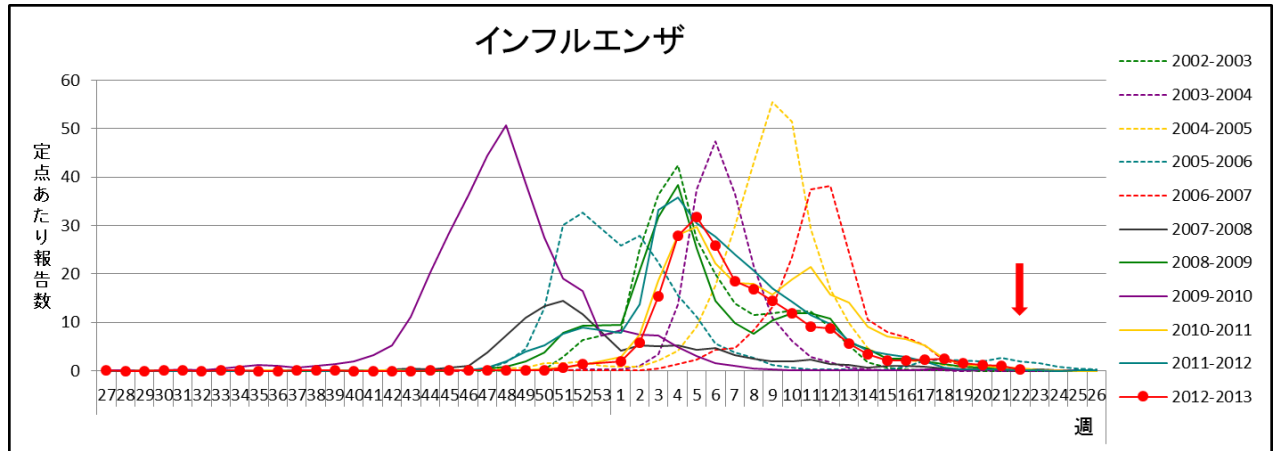


岡山県 インフルエンザ発生状況 (2012/2013 年シーズンまとめ)

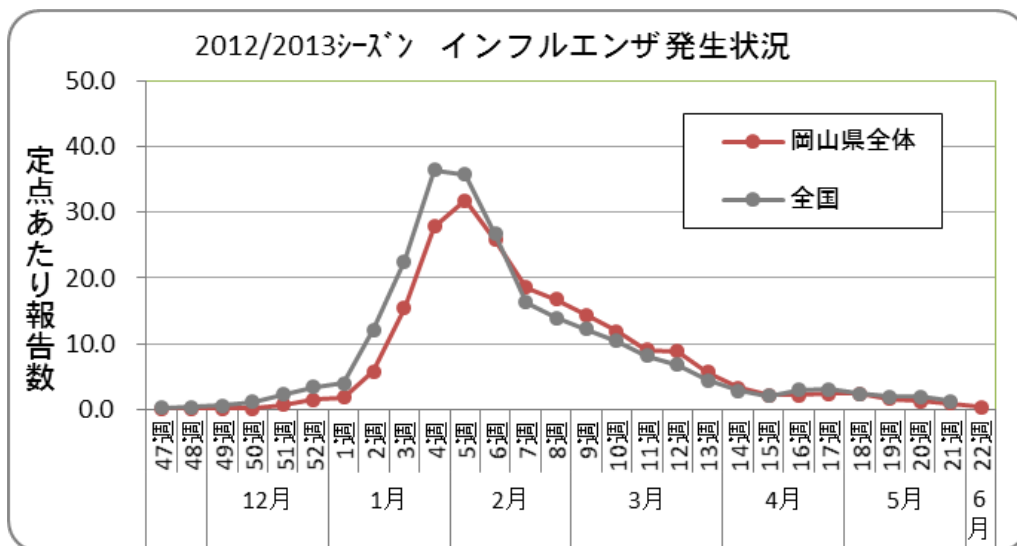


※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

岡山県における 2012 / 2013 年シーズン (2012/ 7/2~2013/ 6/ 2 まで)、県内定点医療機関 84 定点から報告されたインフルエンザの発生動向をまとめました。

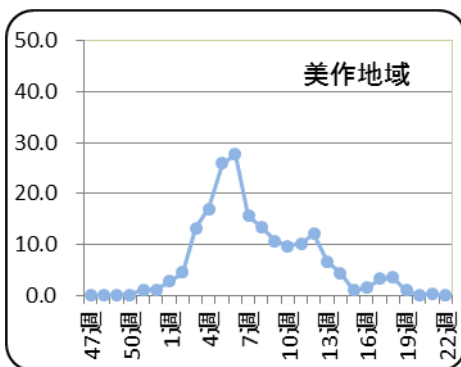
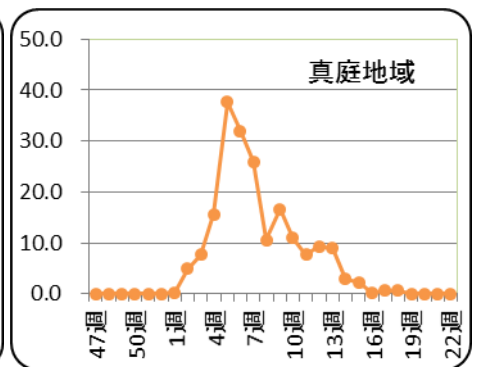
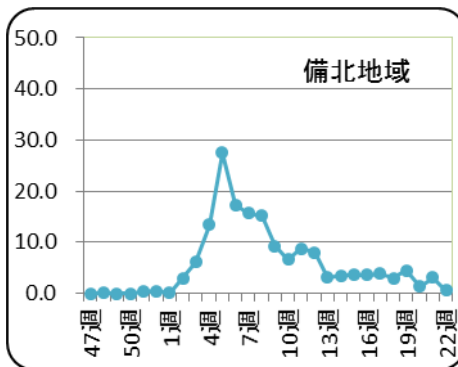
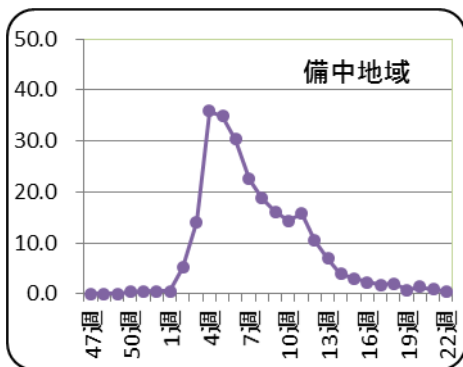
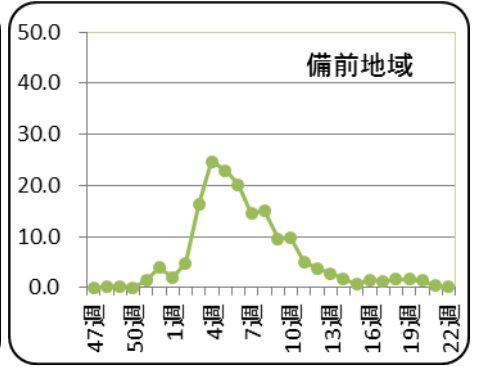
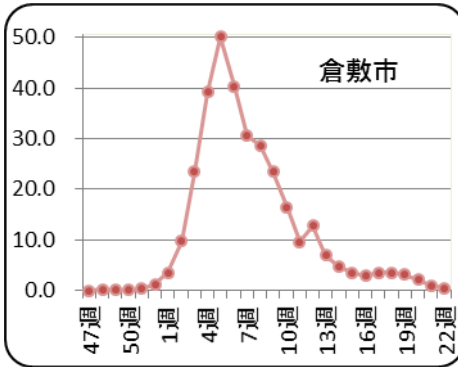
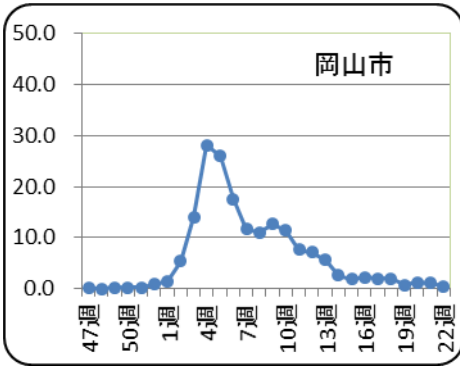
岡山県では、2012 年 第 27 週 (7/2~7/8) に今シーズン初めての患者が報告され、第 52 週 (12/24~12/30) に定点あたり患者数が 1.43 人となり、流行に入りました。以降、急速に拡大し、2013 年 第 2 週 (1/7~1/13) に 5.81 人となり、定点あたり 5 人を越えたため、岡山県は 2013 年 1 月 17 日「インフルエンザ注意報」を発令しました。2013 年 第 5 週 (1/28~2/3) には 31.79 人となったため、2 月 7 日「インフルエンザ警報」を発令し、さらなる注意喚起をはかりました。警報を発令した第 5 週の 31.79 人が、そのまま今シーズンのピークとなり、第 6 週以降、患者数は徐々に減少しました。第 21 週 (5/20~5/26) 0.93 人、第 22 週 (5/27~6/2) 0.35 人と、2 週連続して定点あたり患者数が 1 人を下まわったため、岡山県に発令されていたインフルエンザ注意報は 6 月 6 日をもって解除になり、今シーズンのインフルエンザの流行は終息したと考えられます。

全国では、岡山県と同様に推移し、2012 年 第 50 週 (12/10~12/16) に 1.17 人となり、流行に入りました。その後、2013 年 第 4 週 (1/21~1/27) に 36.44 人となり、流行のピークを迎えました。以降、患者数は徐々に減少し、第 21 週 (5/20~5/26) には 1.21 人となり、沖縄県 (4.64 人) 以外の、全国の保健所地域で注意報レベルを下まわりました。



1. 地域別発生状況

地域別発生状況は、2012年第44週（10/29～11/4）頃から、倉敷市・備前地域を中心に患者が報告され始めました。流行初期は倉敷市・岡山市・備前地域を中心に拡大し、やがて2013年第2週（1/7～1/13）には全地域で流行開始の指標である定点あたり1人を上まわり、県内全域で流行期に入りました。その後患者は増加をつづけ、ピーク時には、特に倉敷市（50.00人）、真庭地域（37.67人）、備中地域（35.85人）、で患者が多く報告されました。各地域とも、2013年第4～6週（1/21～2/10）をピークに、患者数は減少をつづけ、第22週（5/27～6/2）、全ての地域で定点あたり1人を下まわり、今シーズンの流行は終息したと考えられます。



3. インフルエンザウイルス検出状況

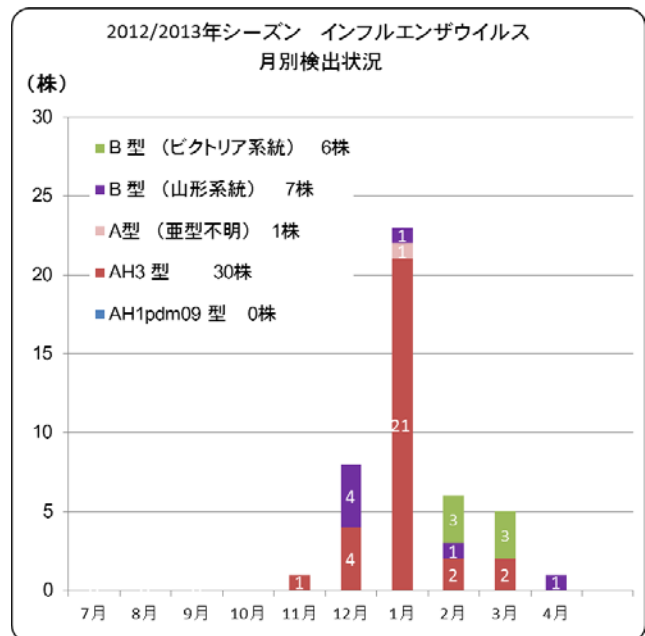
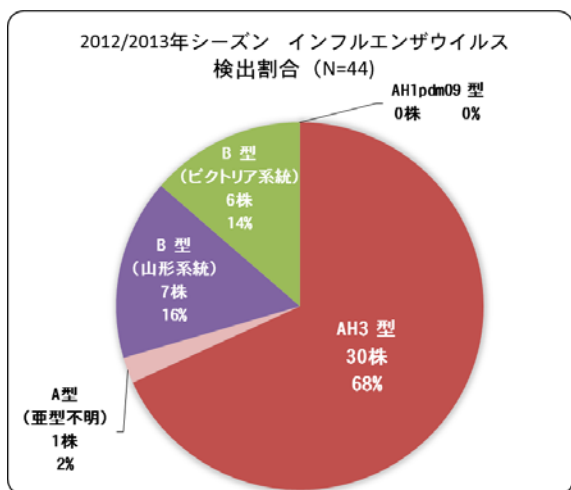
2012/2013年シーズンにおける岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルス44株の検出割合は、前シーズン同様、AH3型が最も多く30株(68%)、B型13株(30%) (B型のうち山形系統7株(16%)、ビクトリア系統6株(14%))でした。2010/2011年シーズン、2009/2010年シーズンに半数以上を占めたAH1pdm09型は、検出されませんでした。

月別発生状況は、11月の発生時はAH3型が検出され、12月にはAH3型とB型(山形系統)が検出されました。その後、1月の流行期はAH3型が主流になり、2月以降徐々にB型の割合が増加しました。

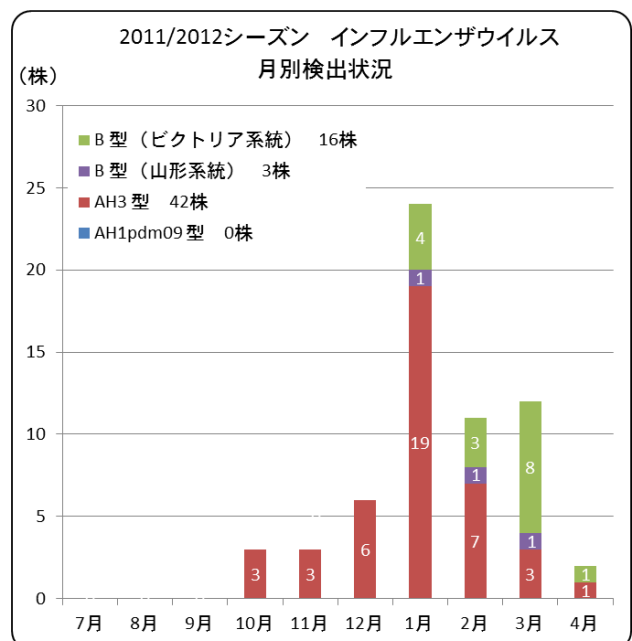
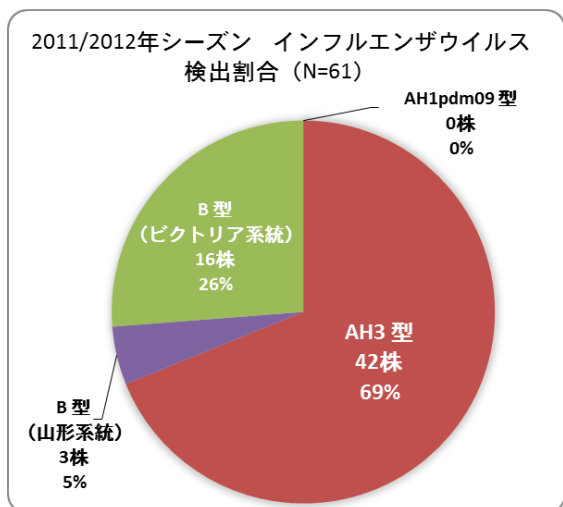
全国でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が4,823株(78%)、B型1,195株(B型のうち山形系統691株(11%)、ビクトリア系統297株(4.8%)、系統不明が207株(3.4%))、AH1pdm09型が135株(2.2%)報告されています。月別検出状況は岡山県と同様の傾向であり、また、AH1pdm09型は全国でも検出がわずかで

([インフルエンザウイルス分離検出状況 国立感染症疫学センター](#))

【2012/2013年シーズン】



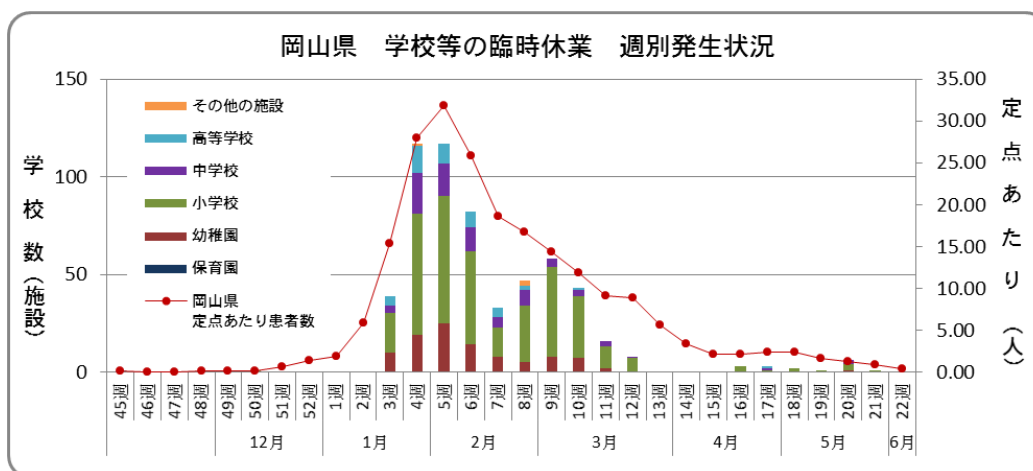
【2011/2012年シーズン】



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

今シーズンのインフルエンザとみられる臨時休業は 578 施設で、昨シーズン（1,004 施設）より減少しました。

施設別では、幼稚園 99 施設、小学校 347 施設、中学校 81 施設、高等学校 47 施設、その他 4 施設でした。初発は 2012 年 11 月 6 日で、昨シーズン（10 月 31 日）より遅い報告となり、今シーズンのピークには 1 週間に 117 施設の報告がありました。



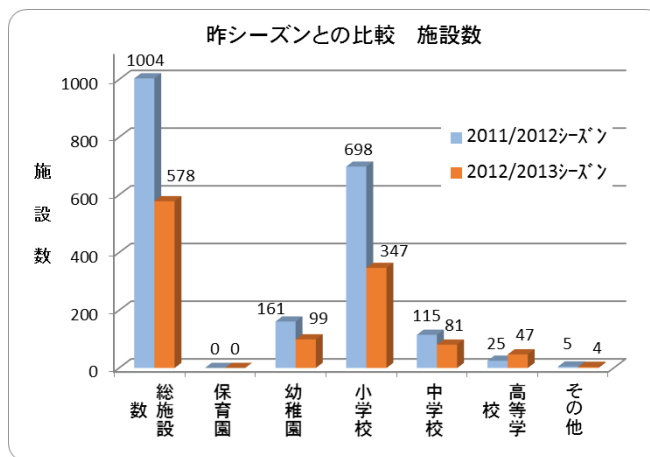
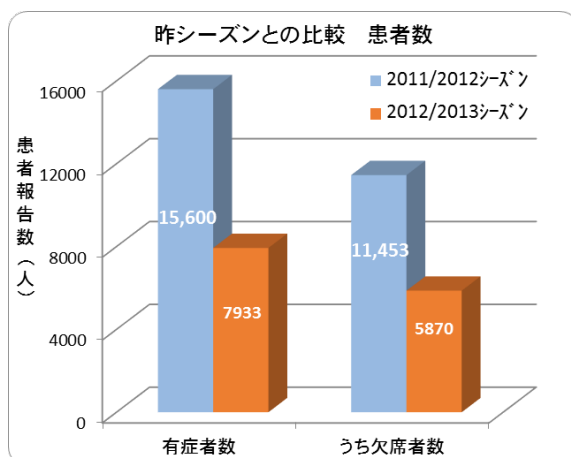
1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数	うち欠席者数	施設数合計	休園・休校数	学年閉鎖	学級閉鎖	初発年月日
岡山県全体	7933	5870	578	22	185	371	H 24. 11. 6
岡山市	2955	2144	190	2	32	156	H24. 11. 6
倉敷市	1791	1288	109	1	15	93	H25. 1. 15
備前地域	904	693	83	4	37	42	H25. 1. 15
備中地域	1115	899	93	6	42	45	H24. 12. 12
備北地域	310	238	32	3	23	6	H25. 1. 21
真庭地域	128	90	12	1	9	2	H25. 1. 21
美作地域	730	518	59	5	27	27	H25. 1. 15

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳 累計：578 施設 (施設)

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他
施設数	—	99	347	81	47	4



5. インフルエンザによる入院患者報告数(県内基幹定点 5 医療機関による報告)

今シーズンにおけるインフルエンザによる入院患者数は 99 名であり、4 歳以下の幼児 (35%) と、70 歳以上の高齢者 (36%) が多くを占めました。

週別では、第 3 週に入院患者数が最も多くなりました。

【2012 / 2013 年シーズンにインフルエンザにより入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	8	27	6	3	1	2	2	5	2	7	18	18	99
ICU 入室										1			1
人工呼吸器の利用							1			1			2
頭部 CT 検査(予定含)		3	3	1	1	1	1				2		12
頭部 MRI 検査(予定含)		8	2		1		1						12
脳波検査 (予定含)		1					1						2
いずれにも該当せず	8	18	2	2		1	1	5	2	6	16	18	79

* 重複あり

